

山形県教員指標（改正案）

※修正部分の色分けについては、
「（１）山形県教員指標の改正
について（概要）」資料を参照

山形県教育委員会

平成30年1月 策定
令和5年3月 改正
令和6年3月 改正
令和8年〇月 改正

1 策定の趣旨

山形県教育委員会は、教育公務員特例法第22条の3に基づき、文部科学大臣が定める指標の策定に関する指針及び山形県教育振興計画の趣旨を踏まえ、県内教職課程を有する大学及び各市町村教育委員会、各学校、保護者、産業界の共通認識を得るとともに、パブリックコメントを通じて広く県民の意見を反映させ、本県教員が「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」（令和3年1月 中央教育審議会答申）で示された新しい時代における教員の姿を実現するため、高度専門職としての職責、経験及び適性に応じて身に付ける資質・能力を明確化した指標を定める。

2 性格

指標は、本県教員が主体的に資質向上を図る際、教員としてのキャリアステージ全体を見通し、自らの職責、経験、適性に応じて効果的・継続的な研修を行うための目安であり、山形県教育委員会が研修計画を策定する際に踏まえるべきものとする。

また、校長は、指標及び研修計画、研修等に関する記録を踏まえて、教員に対し資質の向上に関する指導助言を行うものとする。

なお、指標は、人事評価に用いるものではない。

3 指標が対象とする教員等の範囲

山形県教育委員会が任命権者となる県立学校及び市町村立学校の校長、副校長・教頭、主幹教諭、教諭（常勤講師及び短時間勤務教諭を含む）、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭とする。

（非常勤講師については対象としないが、研修機会の充実に努め、資質向上を図る。）

なお、校長の指標は、職責及び役割の大きさに鑑み、教諭とは別に個別の指標を策定するものとする。また、市町村立幼稚園及び市町村立幼保連携型認定こども園の教員等の指標については、各市町村教育委員会の参考となるよう策定した。

4 指標の構成

（１）指標には、山形県教育委員会が新規採用教員に対して求める資質を「着任時の姿」として第一の段階に位置付け、それも含めて以下の段階を設ける。

○ 教諭、養護教諭、栄養教諭、幼稚園教諭のキャリアステージ（５段階）

①着任時の姿	（初任時）
②始発期	※（初任時～３年目）
③成長期	※（４年目～１０年目）
④充実期	※（１１年目～２０年目）
⑤組織運営期	※（２１年目～退職）

※ キャリアステージごとに示した経験年数は、各教員が自ら資質向上を目指す際のあくまでも目安であり、研修を受ける際等に参考とするものである。

例えば、本県教員としては初任であっても、他県で教員としての経験を積んでいる場合などは、成長期にあたる研修で自らの資質向上を図ること等も考えられる。

（２）指標のキャリアステージ（５段階）を縦軸とし、各観点を横軸として、キャリアステージ及び観点到した項目内容を記述し、表を作成している。

- (3) 各キャリアステージにおける重点項目は、各教員が自らの資質向上を図るため研修を受講する際などに、目安として活用できるようにするものである。(その重点の時期以前に、研修及び教員としての経験等により身に付けておくことは、より望ましい。)
- (4) 指標の「始発期」に位置付けた重点項目は「探究学習の趣旨理解」、「郷土愛の育成」、「ICTの活用」など、本県教育の充実に向けて、教職の早い段階から身に付けてほしい資質として示したものである。特に、養護教諭や栄養教諭には、学校において、より専門性の高い教員としてその能力を発揮してほしいという考え方から、「始発期」により多くの重点項目を位置付けている。
- (5) 山形県教育委員会は、指標のキャリアステージ及び観点等を踏まえ、各教員が資質向上を図るための研修計画を策定する。

5 指標の内容を定める観点

指標の内容を定めるため、教諭用、養護教諭用、栄養教諭用、**校長用**、**幼稚園教諭用**にそれぞれ、以下の観点を設定する。

教諭用	
A：教職の実践に関する資質・能力	B：教職の素養に関する資質・能力
<input type="checkbox"/> 生徒指導力 ・児童生徒理解力、教育相談力 ・集団指導力、学級経営力 <input type="checkbox"/> 学習指導力 ・基礎的授業力、カリキュラム・マネジメント ・指導の積極的改善 ・教師としての専門性の構築、専門教科の指導力強化 <input type="checkbox"/> 特別支援教育力 <input type="checkbox"/> ICT活用力・情報モラル	<input type="checkbox"/> 総合的な人間力 ・社会力 ・豊かな人間性・教養 ・学び続ける姿勢 <input type="checkbox"/> 教育公務員としての自覚 <input type="checkbox"/> チームマネジメント能力 ・経営参画意識 ・連絡調整力 ・チーム運営力 ・後輩への指導・助言力 <input type="checkbox"/> 危機管理対応能力 ・学校・園の安全管理 ・学校・園の情報管理

養護教諭用	
A：養護教諭の実践に関する資質・能力	B：教職の素養に関する資質・能力
・健康相談力及び保健指導力 ・保健管理力 ・保健教育力 ・保健室経営力 ・保健組織活動力 <input type="checkbox"/> 特別支援教育力 <input type="checkbox"/> ICT活用力・情報モラル	<div>※教諭用と共通</div>

栄養教諭用	
A：栄養教諭の実践に関する資質・能力	B：教職の素養に関する資質・能力
<input type="checkbox"/> 食に関する指導力 ・児童生徒理解力 ・食育推進力 ・給食時間における食に関する指導力 ・教科等における食に関する指導力 ・個別的な相談指導力 <input type="checkbox"/> 学校給食管理力 ・栄養管理力 ・衛生管理力 <input type="checkbox"/> 特別支援教育力 <input type="checkbox"/> ICT活用力・情報モラル	<div>※教諭用と共通</div>

校長用	
○総合的な人間力	①管理職としての見識 ②学び続ける姿勢
○教育公務員としての自覚	
○経営・組織マネジメント力	
・学校経営力 ①学校経営目標の設定と達成 ②カリキュラム・マネジメント ③組織体制づくり	
・人材育成力 ①人材育成 ②人材発掘 ③人事評価	
・連携・協働調整力 ①保護者・地域との連携・協働 ②教育委員会等との連携・協働 ③開かれた学校づくり	
○危機管理	①学校安全管理 ②学校情報管理

幼稚園教諭用	
A：保育の実践に関する資質・能力	B：教職の素養に関する資質・能力
○幼児理解力 ・幼児理解力、教育相談力	※教諭用と共通
○保育指導力 ・集団指導力 ・基礎的保育力、カリキュラム・マネジメント ・指導の積極的改善 ・保育の専門性の構築	
○特別支援教育力	
○ICT活用力・情報モラル	

＜参考１＞用語の解説

【令和の日本型学校教育】（１ 策定の趣旨）

中央教育審議会答申で示された、「全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現」を目指す学校教育の姿（出典：『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現～」2021.1 中央教育審議会答申）

【指導助言】（２ 性格）

校務をつかさどる校長は、学校組織のリーダーとして、教員の人材育成について、大きな責任と役割を担っており、教員の自律的な成長を促すべき存在である。研修等に関する記録を活用した資質の向上に関する指導助言等の場面においても、教育委員会の服務監督の下、実質的な指導助言者としての役割を担い、一義的な責任を負う主体である。（出典：公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針 2025.2 改正 文部科学大臣告示）

【教育愛】（教諭用A、養護教諭用A、栄養教諭用A、幼稚園教諭用A 各項目１）

「教育愛」：一般には教育者（特に教師）の被教育者（特に児童）に対する愛をさすが、それは単なる情緒的な愛ではなく、被教育者をより望ましい方向に形成することを意図して被教育者にはたらきかける教育活動によって表現される愛である。（新教育学大辞典 第一法）

【探究学習】（教諭用A 項目26）

学校ならではの児童生徒同士の学び合いや多様な他者と協働して主体的に課題を解決しようとする学習。課題設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現の4つのプロセスの学習過程で進められ、「探究的な学び」、「探究的な学習」と同義。（出典：『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現～」2021.1 中央教育審議会答申）

【ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業】（教諭用A 項目32、養護教諭用A 項目33、栄養教諭用A 項目31）※ 幼稚園教諭用A 項目33「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた指導・援助・環境の構成」

「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり」の定義

「すべての児童生徒がわかる喜びや学ぶ意義を実感できるように、配慮を要する児童生徒には『ない』と困る支援で、他の児童生徒にも『有効な支援』を、学級の実態、教科の特性、指導場面などに合わせて工夫した授業づくり」

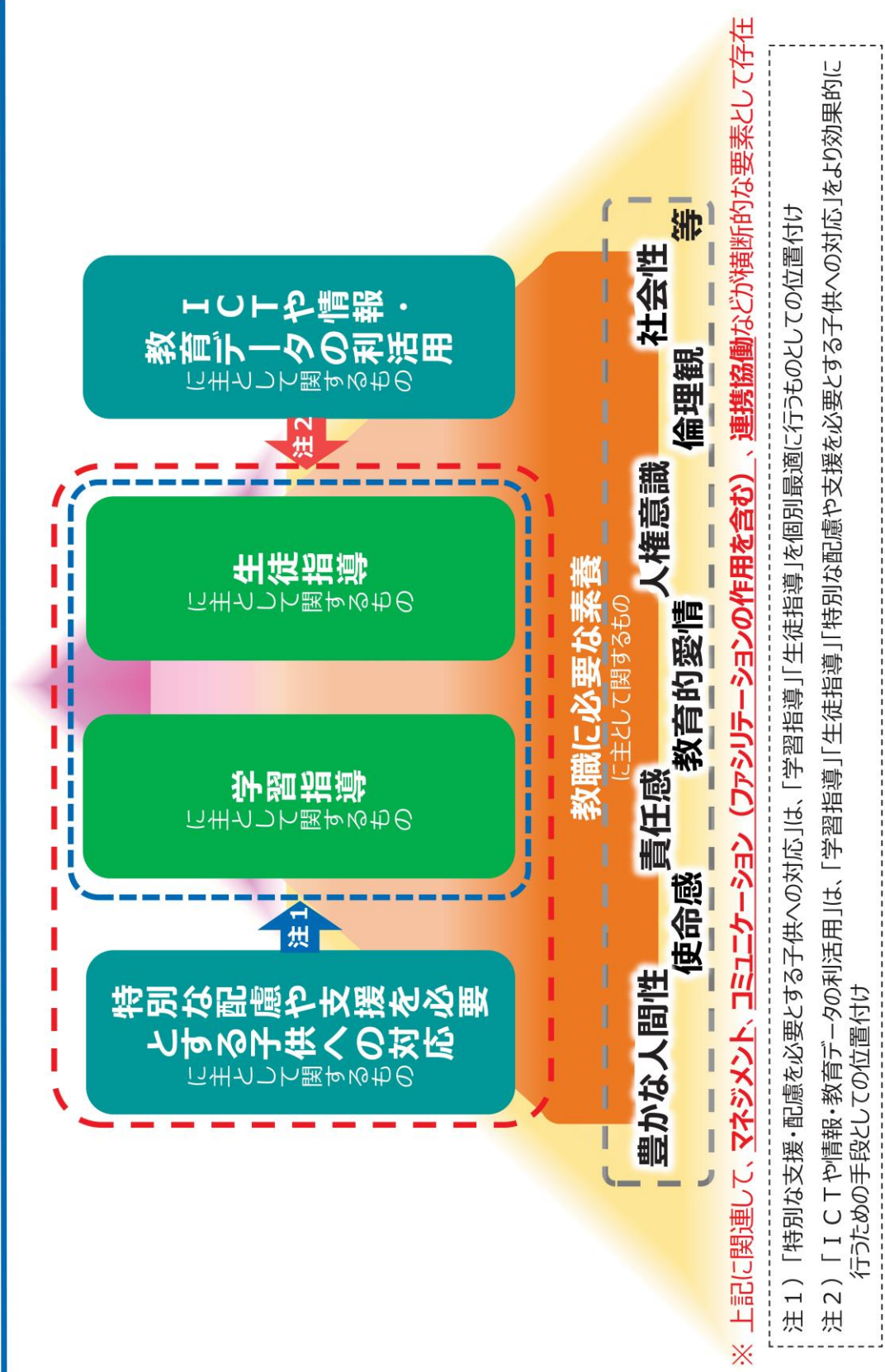
（出典：研究報告書第80号「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり」2013.3 山形県教育センター）

【師表】（校長用 項目4）

「師表」：師として人の手本・模範となること。また、そういう人。（大辞林）

「完璧な人間がいないように、誰も完璧な師表にはなり得ない。大切なことは、師表たる教師になろうという意識を持ち続けること、そうなるために努力することである。教員になるということ、教員であり続けるということは、そのような覚悟が必要なのである。」（出典：「信頼される学校教育を推進するために～管理職等のための『校内研修活用資料』～」及び「師表」2011.12 山形県教育委員会）

公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針
に基づく教師に共通的に求められる資質の具体的内容



（出典：「公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針に基づく教師に共通的に求められる資質能力の具体的内容」2022.8 文部科学省）

山形県教員指標 教諭用A 【教職の実践に関する資質・能力】

※空欄の矢印(↓)は、これまでに身に付けた資質・能力の維持・向上を意味する

生徒指導力			学習指導力		特別支援教育力	ICT活用力・情報モラル
児童生徒理解力 教育相談力	集団指導力 学級経営力	基礎的授業力 カリキュラム・マネジメント	指導の積極的改善	教師としての専門性の構築 専門教科の指導力強化		
① 児童生徒に対する深い教育愛を有し、生徒指導及び教育相談の意義・原理・理論の理解	8. 児童生徒の実態に応じた、よりよい人間関係づくり・集団づくりの理解	14. 学習指導要領の理解に基づく授業の実践	20. 学習評価の意義・方法の理解	25. 教科等を学ぶ意義の理解と基礎的な知識・技能の習得	31. インクルーシブ教育システムの考え方の理解	37. 学校におけるICT活用の意義及び情報モラルの正しい理解に基づき、ICTの適切な活用
2. 児童生徒との積極的なコミュニケーションを通じた公平かつ受容的・共感的な関わり	9. 児童生徒が互いのよさを認め合いながらそれぞれの可能性や活躍の場が引き出される、温かい学級経営の実践	15. 学習指導要領・教材の価値・児童生徒の実態を踏まえた年間指導計画や学習指導案の作成	21. 児童生徒の興味・関心を引き出す教材研究	26. 探究学習の趣旨の理解に基づき、児童生徒の主体的・協動的に課題を解決する力の育成	32. 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒の特性等の理解とユニバーサルデザインの見地を取り入れた授業の実践	38. 授業の目的に応じたICTの活用と児童生徒の学習改善を図るための教育データの適切な活用
3. 児童生徒一人一人のよさや可能性の把握と学校生活や学習への意欲・興味・関心を引き出す指導・支援		16. 教科等の内容に関する専門的な知識・技能を活用した指導	22. 児童生徒の学習状況における評価規準を用いた課題の把握と自らの指導方法の工夫・改善	27. 郷土を理解し、郷土に誇りをもち、地域とつながる心を育む体験活動等の推進	39. 指導計画に基づく適切なICTの活用を通じた、児童生徒の情報活用能力・情報モラルの育成	40. ICTを活用した教育DXの推進と家庭・地域と連携した情報モラル教育の推進
4. いじめや不登校などの教育課題の理解とその予防・解決に向けた適切な指導・支援	10. 生徒指導上の問題発生時における学年会・ケース会議等への早期の報告・共有	17. 学習内容の習熟の程度を踏まえた学習者中心の指導		28. 自らの専門性を高めるための積極的な研究会・研修への参加と校内への情報共有	33. 児童生徒一人一人の教育的ニーズを踏まえた適切な指導・支援	
5. 児童生徒一人一人の心身の特性・状況・生活環境などを多面的に捉えた組織的な指導・支援	11. 学校の教育活動全体の道徳教育を通じた、生命や人権を尊重する心・思いやりの心・規範意識等の醸成	18. 学習指導要領や第7次山形県教育振興計画の趣旨に基づき、幼児期から高校までを見通したカリキュラムづくりの推進	23. 授業の分析・評価を踏まえた改善の方向性の校内へのフィードバック	29. 指導方法の改善に向けた同僚への適切な助言	34. 個別の指導計画及び個別の教育支援計画について、意義の理解に基づき作成・活用	41. 情報モラル等に関する情報収集とSNS等の有益性・危険性の理解に基づき、的確な対策の実施
6. キャリア教育や進路指導の意義を理解し、地域・社会や産業界と連携しながら学校の教育活動全体を通して取り組む、児童生徒が自分らしい生き方を実現するための力の育成	12. 学校教育目標の実現に向けた、教職員や家庭・地域の連携による開かれた学級経営の推進	19. 学校の特色や教育課程を踏まえた、カリキュラムにおけるP D C Aサイクルの具体化と実践	24. 教科における自校の教育課題の分析・考察に基づき、学力の定着・向上に向けた組織的な取り組みの実施	30. 外国語教育・道徳教育・人権教育・環境教育・国際理解教育など、今日的な動向の把握と学校全体への周知		
7. 児童生徒の指導における教職員の組織の活用と校外の関係機関と連携による課題解決	13. 幼児期から高校までの成長を見通した、キャリア発達の見通しを持った学級・学年経営の推進				36. 地域における関係機関の役割を理解し、連携しながら学校・家庭・地域での支援を効果的につなぐ取組みの実施	

山形県教員指標 教諭用B【教職の素養に関する資質・能力】

※空欄の矢印(↓)は、これまでに身に付けた資質・能力の維持・向上を意味する

キャリア ステージ	総合的な人間力			教育公務員としての自覚	チームマネジメント能力			危機管理対応能力		
	社会力	豊かな人間性・ 教養	学び続ける姿勢		経営参画意識	連絡調整力	チーム運営力	後輩への指導・ 助言力	学校・園の 安全管理	学校・園の 情報管理
① 着任時の姿	1. 言葉遣い・マナー・コミュニケーション力など、社会人としての常識を身に付けた上での円滑な人間関係の構築	5. 心身とともに健康で前向きに挑戦する姿勢、教養・教育に関する専門性の涵養	9. 「令和の日本型学校教育」を踏まえた新しい時代の教育における意義や学び続ける教師の重要性の理解	13. 教育公務員にふさわしい倫理観・規範意識と教育に対する強い使命感・責任感	16. 山形県の教員として、郷土を愛する心と人のつながりを大切に、地域社会においてよりよい学校・園を築こうとする姿勢				35. 危機管理の重要性の理解に基づき、危機意識をもった行動	
② 始発期	2. 悩みや困ったことが生じた場合等における管理職や同僚への相談	6. 日本や外国の文化・歴史・環境問題・平和問題等についての広い知識の習得	10. 自らの学びにおける日常的な省察による課題の発見と改善に向けた努力	14. 高い倫理性のもと、教育公務員としての法令及び服務規律の遵守と規範意識をもった職務の専念	17. 同僚と協働することの意義を理解し、問題解決に向け、自分の意見を発信しながらチームで対応しようとする姿勢				36. 危険発生時の対処要領に則り、幼児児童生徒の安全を第一に考えた事件や事故・災害への的確な対応の作成・活用	39. 情報セキュリティポリシーの遵守と個人情報保護などの安全管理に努めた資料の作成・活用
③ 成長期	3. 互いに相談し合える雰囲気を出して創り出す姿勢	7. 仕事と生活の調和を図り、精神的なゆとりをもった業務の遂行	11. 管理職・同僚等からの助言を謙虚に受け止め、自己の省察を成長につなぐ姿勢	15. 高い倫理性及び厳正な服務規律のもと、使命・任務の遂行と同僚への助言	18. 組織の一員としての自己の役割を自覚し、限られた時間・資源を効果的に活用しながら取り組む、学校・園の運営への貢献	24. 保護者・地域等との連携の必要性の理解に基づき、円滑かつ迅速な対応	28. 互いの課題や悩みに関心を持ち、支え合う環境の構築と経験の浅い教職員への積極的な支援	32. 若手教員メンターとして、新規採用教員を支援し、教員へのアドバイザーやサポーター等の実施	40. 情報セキュリティポリシーの適切な運用による安全管理の徹底	
④ 充実期	4. 教職員間のコミュニケーションの活性化と相互理解の促進	8. 地域の一人として地域活動に参加することなどを通して、地域・他業種等の視点の理解と多面的な見方・考え方の涵養	12. 教師としての自己革新への意欲をもち、様々な情報を適切に収集・整理・分析し、状況を踏まえて変化を遂げる、ためめ自己研鑽	15. 高い倫理性及び厳正な服務規律のもと、使命・任務の遂行と同僚への助言	19. 学校・園を取り巻く状況の把握・分析による組織の課題の発見	25. 学校・園の共通認識を伴った外部専門機関との連携	29. 効率的な会議・研修に向けた、参加者の積極的な発言の促進	33. 同僚の教育実践の課題について、学び合う意識をもった助言	37. 安全教育の計画策定への主体的な参画と学校・園の安全に関する実践の推進	41. ICT技術の実態や動向の把握と安全管理の重要性の啓発
⑤ 組織運営期					20. 柔軟な発想・企画力・判断力による全体最適な視点からの学校・園の職務の推進	26. 保護者・地域・関係機関等、様々な立場の人と協力した広い情報収集と適切な情報発信	31. 外部専門家等と連携した「チーム学校」づくりへの参画	34. 自らの指導・支援等に関する技術の公開とロールモデルであることを見習った後の育成	38. 危険発生時の対処要領作成への参画と事件や事故・災害への的確な対応	

山形県教員指標 養護教諭用A 【養護教諭の実践に関する資質・能力】

※空欄の矢印(↓)は、これまでに身に付けた資質・能力の維持・向上を意味する

スキーム キャリア エリア	養護教諭の実践に関する資質・能力					ICT活用・情報モラル	
	健康相談力及び 保健指導力	保健管理力	保健教育力	保健室経営力	保健組織活動力	特別支援教育力	ICT活用・情報モラル
① 着任 時	1. 児童生徒に対する深い教育愛を基盤とする、生徒指導及び教育相談の意義・原理・理論の理解	5. 養護教諭の職務及び役割の理解に基づき、日常における救急措置の実施	13. 学習指導要領の理解に基づき、保健教育の実施	20. 保健室の機能及び保健室経営の理解	26. 児童生徒や教職員とのつながりを大切にしたい良好なコミュニケーションの充実	32. インクルーシブ教育システムの考え方の理解	38. 学校におけるICT活用の意義及び情報モラルの正しい理解に基づき、ICTの適切な活用
	2. 児童生徒の心身の健康課題やいじめ・不登校などの教育課題の理解とその予防・解決に向けた指導・支援	6. 健康に関する個人情報保護の適切な管理	14. 学級担任や保健体育科教諭等と連携した、保健教育の実施・資料提供	21. 設備・備品の管理や環境衛生の維持をばじめとした、保健室環境の整備	27. 学校保健計画の作成への参画	33. 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒の特性等の理解とユニバーサルデザインの観点を取り入れた授業の実践・指導	39. 指導計画に基づく適切なICTの活用を通して、児童生徒の情報活用能力・情報モラルの育成
② 始発期	3. 学校内（学校医等を含む）の関係者及び地域の関係機関等との連携を図った健康相談・保健指導の組織的な推進	8. 必要に応じて医療機関等と連携した、救急処置・健康相談・保健指導・感染症等予防と発生時の対応、アレルギー疾患等の疾病の管理	15. 次世代に生命をつなぐことへの大切さなど、生命尊重を基盤とした性についての教育の実施	22. 保健室経営計画の策定と教職員や保護者への周知、計画の実施・評価・改善による効果的な保健室経営の実践	28. 児童生徒保健委員会活動において、児童生徒の主体的な活動を促す指導		
	4. 学校での事例検討会の積極的な開催など、児童生徒の心身の健康課題の解決に向けた教職員への指導・助言	9. 学校薬剤師と連携した、教職員による学校環境衛生の日常的な点検への協力・助言	16. 保健教育におけるPDCAサイクルの展開				40. ICTを活用した教育DXの推進と家庭・地域と連携した情報モラル教育の推進
③ 成長期		11. 管理職とともに、学校全体で主体的な事故予防に取組むための体制の構築	17. 保健に関する情報収集及び家庭・地域への情報発信による、学校保健活動への理解・協力の促進	23. 学校保健活動におけるリーダー的存在となり、学校保健活動のセンター的機能を果たす保健室経営の実践	29. 健康に関する校内研修を計画的に実施するための共通理解と組織的な学校保健活動の推進	34. 児童生徒一人一人の教育的ニーズを踏まえた適切な指導・支援	
		12. 児童生徒の心身の健康管理における学校内外のコーディネーターとしての指導・助言	18. 各教科や特別活動等における保健に関する指導計画策定への参画	24. 学校全体の児童生徒理解に基づき、関係機関と連携した指導	30. 学校保健委員会等の組織活動における企画・運営への参画と保護者・関係者・学校医等の参加や協力を促す体制の構築	35. 個別の指導計画及び個別的教育支援計画について、意義の理解に基づき作成・活用	
④ 充実期			19. 管理職とともに、児童生徒の健康課題の解決に向けた体制の構築		31. 教職員の保健部組織が円滑に機能するための指導・助言	36. 共生社会の実現に向け、深い専門知識やコーディネーター力を活かした教育的支援の実施	41. 情報モラル等に関する情報収集とSNS等の有益性・危険性の理解に基づき、的確な対応策の実施
				25. 地域の健康づくりの取組みと連携した保健室経営の実践		37. 地域における関係機関の役割を理解し、連携しながら学校・家庭・地域での支援を効果的につなぐ取組みの実施	
⑤ 運営 期							

山形県教員指標 栄養教諭用A 【栄養教諭の実践に関する資質・能力】

※空欄の矢印(↓)は、これまでに身に付けた資質・能力の維持・向上を意味する

キャリアステージ	食に関する指導力					学校給食管理力		特別支援教育力	ICT活用力・情報モラル
	児童生徒理解力	食育推進力	給食時間における食に関する指導力	教科等における食に関する指導力	個別的な相談指導力	栄養管理力	衛生管理力		
① 着任時の準備期	1. 児童生徒に対する深い理解を基盤とする、教育指導及び教育相談の意義・原理・理論の理解	4. 栄養教諭の職務及び役割の理解に基づく、食育の取組みの実施	8. 学校給食の意義の理解に基づき、給食を活用した食に関する指導	11. 学習指導要領の理解に基づき、食に関する授業の実践・指導		18. 栄養管理責任者としての役割の理解	25. 学校給食衛生管理責任者としての役割の理解	30. インクルーシブ教育システムの考え方の理解	36. 学校におけるICT活用の意義及び情報モラルの正しい理解に基づく、ICTの適切な活用
② 始発期	2. 児童生徒一人一人との積極的なコミュニケーションを通じた公平かつ受容的・共感的な関わり	5. 児童生徒の実態の把握と食に関する指導における全体計画や年間指導計画の作成への参画	9. 学校給食の教材としての活用と専門的な立場からの資料提供や助言、学級担任と連携した食に関する指導	12. 教科や学級活動におけるねらいの理解に基づき、学級担任や教科担任等と連携した、食に関する授業の実践・指導・資料提供	14. カウンセリングの基礎的知識の習得と栄養教諭が行う個別指導や関係者との連携の仕方の理解	19. 学校給食実施基準を理解し、適切な食品構成や栄養量に基づいた献立の作成	26. 学校給食衛生管理基準に基づいた、施設・設備・食品・学校給食調理員の衛生についての点検・指導・助言	31. 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒の特性等の理解とユニバーサルデザインの見点を取り入れた授業の実践・指導	37. 指導計画に基づく適切なICTの活用を通じた、児童生徒の情報活用能力・情報モラルの育成
③ 成長期	3. 不登校やいじめなどの教育課題の理解とその予防・解決に向けた適切な指導・支援	6. 学校教育目標を踏まえた、学校・家庭・地域の連携による食に関する指導と全体計画の作成	10. 地域の食生活や産業等の理解に基づき、郷土料理や地場産物の導入等の工夫及び関係機関と連携した食に関する指導	13. PDCAサイクルを活用した学習指導の理解に基づき、指導方法の工夫・改善	15. 肥満や痩身・偏食・食物アレルギーを有する児童生徒及びその保護者に対する、担任・養護教諭と連携した栄養管理・指導	22. 児童生徒の自己管理能力を育成したり、食への関心を高めたりする献立の作成	29. 衛生管理責任者として、校長・所長・養護教諭・学校医・薬剤師・関係機関等と連携した調理場の運営・改善	32. 児童生徒一人一人の食への関心や発達の段階に応じた栄養指導や食形態の工夫・食習慣の改善等、教育的ニーズを踏まえた適切な指導・支援	38. ICTを活用した教育DXの推進と家庭・地域と連携した情報モラル教育の推進
④ 充実期	7. 食に関する指導体制の評価と学校・家庭・地域・関係機関の連携による改善				17. スポーツ栄養など、食に関する専門性の向上と児童生徒の実態に即した実践的な指導	23. 児童生徒の食に関する知識や学習状況の把握と教材として活用できる献立の工夫・改善		34. 共生社会の実現に向け、専門知識やコーディネーター力を活かした教育的支援の実施	39. 情報モラル等に関する情報収集とSNS等の有益性・危険性の理解に基づく、的確な対策の実施
⑤ 運営期						24. 残食調査や栄養摂取状況等の評価に基づき、児童生徒の健康状態の改善につなぐ取組みの実施		35. 地域における関係機関の役割を理解し、連携しながら学校・家庭・地域での支援を効果的につなぐ取組みの実施	

山形県教員指標 校長用

観 点		項 目	
総合的な人間力	①管理職としての見識	1	学校の責任者として、自己管理に 基づく 職業倫理の模範の 提示 と豊かな経験に基づく的確で迅速な判断・決断及びリーダーシップの発揮
		2	国や県・市町村教育委員会における教育施策について情報収集し、広い視野で自校を取り巻く状況を把握 しながら取り組む 、教育哲学・理念に基づいた学校経営の 実践
	②学び続ける姿勢	3	「令和の日本型学校教育」の実現に向け、研究・修養による自らの資質・能力の研鑽と職務上における自らの言動・行動の 日常的な 省察による、校長としてのマネジメント力等の向上
教育公務員としての自覚		4	教育公務員として、法令の遵守及び「師表」となる誠実・厳正な職務の遂行と自らを範とする努力を 伴う 教職員への指導
経営・組織マネジメント力	①学校経営目標の設定と達成	5	様々なデータや内外環境に関する情報の収集・整理・分析と組織内での共有、自校の実態・使命を踏まえ、先見性をもった経営目標の策定とその実現に向けた経営戦略の構築
		6	教育活動や学校運営に関する学校評価による的確な状況の把握と継続的な評価・改善の 実施 、積極的な情報発信による的確な説明責任の 遂行
	②カリキュラム・マネジメント	7	教育目標の具現化を目指し、学校の使命や教職員の実態等を踏まえた特色あるカリキュラムの作成・管理・改善における、リーダーシップの発揮
		8	強みを活かした教育活動の実現に向け、組織運営にかかわる内外の環境条件を把握し、事務職員や技能職員等の職務の理解を図るなど、 多様な専門性を活かした組織づくりの推進
	③組織体制づくり	9	働き方改革に係る自校の取組み状況及び課題の把握、課題解決に向けた取組みの推進
		10	いじめや不登校等、生徒指導上の課題に組織で対応できる「チーム学校」づくりの推進
		11	職場内のコミュニケーションを通じた協働性・同僚性・服務規律の高い教職員集団の育成
		12	教職員のメンタルヘルスマネジメント及びハラスメント防止の 推進による 、良好な職場環境の 構築
	①人材育成	13	教職員一人一人の能力や適性の把握に 基づく 、チーム・学年・教科等によるOJTの推進と 教職員の キャリアステージに応じた外部研修参加の 促進
		14	ミドルリーダー・シニアリーダーの育成と管理職にふさわしい人材の発掘
		15	人事評価の十分な理解に 基づく 、所属 教職員 に対する適切な指導助言
	②人事評価	16	保護者・地域の多様な関心やニーズを把握し、適切に外部人材の参画を促すなど、学校内外の関係者との連携・協働による、学校の教育力の最大化
		17	学校の課題解決に向けた、教育委員会や関係機関との連携・協働
		18	郷土愛や地域への参画意識の醸成に向け、地域の自然・歴史・文化・産業等の特色を活かした、家庭・地域に開かれた学校づくりの 推進
危機管理	①学校安全管理	19	事故等の未然防止や 適切な対応 に向けた、危機管理マニュアルの整備や防災教育の充実と平素から職員の危機管理能力を高める 指導助言 、緊急時の対応におけるリーダーシップの 発揮
		20	予算編成の趣旨を踏まえた、効果的な予算の執行管理と適切な公金・諸帳簿の管理、校舎内外の学校施設の修繕・安全管理の徹底
	②学校情報管理	21	情報セキュリティポリシーに則った 、情報漏洩防止 等のための 厳正なセキュリティ管理

幼稚園教諭用A 【保育の実践に関する資質・能力】

※空欄の矢印(→)は、これまでに身に付けた資質・能力の維持・向上を意味する

キャリアステージ	保育指導力					特別支援教育力	ICT活用力・情報モラル
	幼児理解力 教育相談力	集団指導力	基礎的保育力 カリキュラム・マネジメント	指導の積極的改善	保育の専門性の構築		
① 着任時	1. 幼児に対する深い教育愛を基盤とし、幼児理解及び教育相談の意義・原理・理論の理解	9. 幼児の実態に応じた、よりよい人間関係づくり・集団づくりの理解	14. 幼稚園教育要領等の理解に基づき、保育の実施	21. 幼児理解に基づき、評価の意義・方法の理解	27. 幼児教育を学ぶ意義の理解と基礎的な知識・技能の習得	32. インクルーシブ保育システムの考え方の理解	38. 園におけるICT活用の意義及び情報モラルの正しい理解に基づき、ICTの適切な活用
	2. 幼児との積極的なコミュニケーションを通じた公平かつ受容的・共感的な関わり	10. 幼児が互いのよさを認め合いながらそれぞれの可能性や生活の場が引き出される、温かい集団づくりの推進	15. 幼稚園教育要領等・教材の価値・幼児の実態を踏まえた指導計画の作成	22. 幼児の興味・関心を引き出す教材研究	28. 郷土に愛着をもち、郷土を大切に思う心を育む体験活動等の推進	33. 特別な配慮や支援を必要とする幼児の特性等の理解とユニバーサルデザインの見点を取り入れた指導・援助・環境構成	39. 幼児の体験との関連を考慮したICTや教育データの活用
	3. 幼児一人一人のよさの把握と幼児の園生活に対する意欲・興味・関心を引き出す指導・援助	11. 幼児の園生活における体験を通して、生命を大切にすることの心・思いやりの心・規範意識の醸成	16. 保育に関する専門的な知識・技能を活かした指導・援助	23. 幼児理解に基づいた評価の在り方の理解と幼児一人一人のよさや可能性などの把握	29. 自らの専門性の向上及び園の課題解決のための、研究会・研修への参加と教職員への情報共有	34. 幼児一人一人の教育的ニーズを踏まえた適切な指導・支援	40. ICTを活用した教育DXの推進と家庭・地域と連携した情報モラル教育の推進
② 始発期	4. 幼児一人一人の心身の特性・状況・生活環境などを多面的に捉え、発達や個に応じた指導・援助	12. 園目標の実現に向けた、教職員・家庭・地域との連携による開かれた保育の推進	17. 保育のねらいに応じた指導・援助・環境構成	24. 幼児の実態や状況の変化等に即した、指導過程の評価・改善	30. 園の課題解決や指導力向上に向けた、教職員への適切な助言	36. 共生社会の実現に向け、専門知識やコーディネートを活かした指導・援助	41. 情報モラル等に関する情報収集とSNS等の有益性・危険性の理解に基づき、的確な対策の実施
	5. いじめや登園渋りなどの課題における日常的な情報収集と予防・解決に向けた適切な指導・援助	13. 地域や園の実態に応じた、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等との連携・交流	19. 幼稚園教育要領等や学習指導要領、第7次山形県教育振興計画の趣旨に基づきカリキュラムづくりの推進	25. 指導過程における評価の全体へのフィードバック	31. 国や県・市町村等における今日の保育の動向の把握と園全体への周知	37. 地域における関係機関の役割を理解し、連携しながら園・家庭・地域での支援を効果的につなぐ取組みの実施	
③ 成長期	6. 保護者の子育ての悩み等について理解・受容に基づき適切な助言	14. 地域や園の実態に応じた、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等との連携・交流	20. 園の特色を活かしたカリキュラムにおける成果と課題を踏まえ、PDCAサイクルの具体化と実践	26. 評価の妥当性・信頼性を高める創意工夫と組織的・計画的な取組みの推進			
④ 充実期	7. 小学校との円滑な接続の必要性の理解に基づき、発達や学習の連続性を見通した指導・援助	15. 地域や園の実態に応じた、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等との連携・交流	21. 園の特色を活かしたカリキュラムにおける成果と課題を踏まえ、PDCAサイクルの具体化と実践	27. 評価の妥当性・信頼性を高める創意工夫と組織的・計画的な取組みの推進			
⑤ 組織運営期	8. 幼児の指導・援助に関する課題の把握と教職員の組織を活用した課題解決	16. 地域や園の実態に応じた、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等との連携・交流	22. 園の特色を活かしたカリキュラムにおける成果と課題を踏まえ、PDCAサイクルの具体化と実践	28. 評価の妥当性・信頼性を高める創意工夫と組織的・計画的な取組みの推進			